福生災害ボランティアチェンソー隊活動記録 No.61 (2023.7.23 活動)

FDCAT
福生災害ボランティアチェンソー隊

木育体験を支援しました

今回は、くるみるふっさ主催事業の「木育体験」のお手伝いが中心となりました。

参加者は5家族13名でしたが、リピーターの親子の参加もありました。

まず、福生災害ボランティアチェンソー隊がなぜ河川敷での作業しているのかを説明し、その後、河川敷の中から堤内地に持ち出す準備をしている伐木樹を、参加者各自に持ち出す取り組みをしてもらいました。

次に、参加者を3班にわけて伐木樹をノコギリで切ったり、薪割り機で割ったりという体験と、竹を利用した水鉄砲づくりを行いました。

その後、休憩時間の時にメンバーの古屋さんから、実家で生産しているモモをみなさんに振る舞っていただきましたので、全員で美味しくいただくことができました。

写真にあるように、竹馬を使って親子で遊ぶこともできました。

今回は、作業の一部を楽しく体験してもらうことで、私たちの活動を理解してもらう機会となりました。

福生災害ボランティアチェンソー隊活動記録 No.62 (2023.8.5)

FDCAT
福生災害ボランティアチェンソー隊

環境フェスティバル

環境フェスティバル

環境フェスティバル

環境フェスティバル

環境フェスティバル

ふくふくまつり

ふくふくまつり

七夕まつり

ふくふくまつり

ふくふくまつり

ふくふくまつり

イベント記録

今年は、5月以降土日を中心に、福生災害ボランティアチェンソー隊としてイベントへの参加が増え、多忙な状況となりました。

まず、6月4日（日）に開催された「第21回環境フェスティバル」で、会場は、JR牛浜駅近くの福生市民会館と、隣接する福生公園です。好天に恵まれたことと、しばらくぶりの対面でほとんど規制のない形式となったことから、多くの方が来場しました。

次は、6月11日（日）に開催された「ふくふくまつり」です。会場は、福生市福祉センターです。当日は雨天となってしまったので、私たちは地下の会場となってしまいました。しかし、多くの来場者がありました。

そして、7月8・9日（土・日）に開催された「第73回福生七夕まつり」です。

例年の七夕まつりは8月の土日を含む四日間でしたが、今年は7月の開催となり、内容も流し踊りなどがなく、日程も二日間となりました。

私たちはくるみるふっさを会場として、活動の紹介パネルの掲示をしました。

今年のイベント参加報告

七夕まつり

七夕まつり

七夕まつり

福生災害ボランティアチェンソー隊活動記録 No.63 (2023.8.12 活動)

FDCAT
福生災害ボランティアチェンソー隊

今回の作業内容

続く、草刈り作業

今回も、草刈りの報告です。JR五日市線鉄橋下付近は、JR東日本が国土交通省から借地している部分ですが、公園の利用者の中には「公園の延長部分」と思われている方もいますね。

私たちが作業していると、「すっきりして気持ちよくなった」とお礼を述べていく人もいます。その時には、ここは公園ではなく河川敷ですと、お礼とともに説明しています。

公園と隣接していますので、時には私たちに注文してくるケースもあります。身近な自然環境に関心が高まるきっかけになればと思います。

作業開始

作業前の様子

全９人で作業中

作業中

休憩中

作業中

作業中

作業終了時

作業終了時の様子

福生災害ボランティアチェンソー隊活動記録 No.64 (2023.8.27活動)

FDCAT
福生災害ボランティアチェンソー隊

暑い中、草刈りが続く

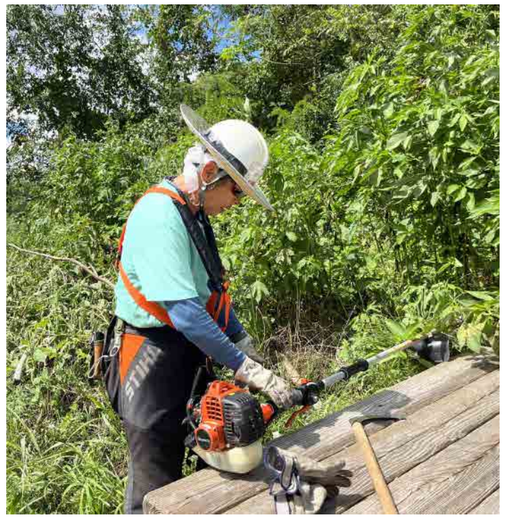
今回の作業内容

今回も暑い中での作業となりました。作業の場所は、水辺の楽校の通路から河川に向かう道の下流側で、ニセアカシヤ、ピラカンサなどの樹木を伐りました。また、オギやススキ、ヒメムカシヨモギなどの他、ツルヨシやクズといったツル性の植物などを刈りました。

今回は9人で作業しましたが、刈り払い機はメンバー各自の個人的な持ち込みもあり、7台用意できました。

それでも刈り払い機は不足していますので、私の自宅に修理を待っていた古い機種を修理して、また、新たに個人的に購入し、台数を増やして作業をすることとしました。

その他にはヘッジトリマーを利用し、公園と隣接する部分の樹木を整えたました。もうしばらくの間、暑い中での作業が続きます。



福生災害ボランティアチェンソー隊活動記録 No.65 (2023.9.9 活動)

FDCAT
福生災害ボランティアチェンソー隊

小雨でも、草刈り作業

今回の作業内容

今回は、台風13号の影響のため、小雨の中での作業となりました。作業開始当初は天候の回復が想定されていて青空もありましたが、途中しっとり濡れるような雨となりました。そのため、涼しかったですね。

作業の場所は前回の場所の続きで、水辺の楽校の通路から河川に向かう道の下流側です。ツルヨシやクズといったツル性の植物などを刈りました。

河川敷なのですが、石河原という風景ではありません。

今回も9人で作業しました。前回、刈り払い機が不足していましたので、自宅で修理した機種と、新たに購入し8台用意しましたが、やはり1台不足しました。全員が刈り払い機で作業すれば一気に進むのですが、道具や機械を置く場所の問題もあり、そう多くの台数を用意することができません。今後も、課題が残ります。

終了時上流方向

作業中上流方向

クズ、ニセアカシヤ、キササゲなどを刈り払い

下流方向

水辺の楽校通路付近の除草

下流方向

福生災害ボランティアチェンソー隊活動記録 No.66 (2023.9.24 活動)

FDCAT
福生災害ボランティアチェンソー隊

作業前の様子

作業後の様子

今回の作業内容

高校生ボランティア参加

今回は、福生高校1年生3人がボランティアとして参加しました。

河川敷での作業は、3人とも初めての経験ということですので、私たちの活動目的と作業内容を説明してから、開始しました。

作業内容は、前回チェンソー隊が河川敷で切ったニセアカシヤの枝を、紐でしばり石ころで足元が不安定な中、土手まで運びました。ニセアカシヤの枝には棘がありますので、高校生各自には、厚い皮の手袋を着用し、ノコギリと剪定ばさみを貸与しました3人もと初めてノコギリやハサミを使ったとのことで、戸惑いながらも切れ味に驚いていました

チェンソー隊としては、JR五日市線鉄橋下付近の草刈りを行いました。

8月に草刈りをしたのですが、あっという間に草が伸びてしまいましたので、今の時期であれば、効果が大きいと思い、実施しました。

高校生の作業の様子

古屋さんから差し入れのぶどう

高校生の作業の様子

竹とんぼを楽しむ高校生

作業中の様子

作業中の様子

福生災害ボランティアチェンソー隊活動記録（2023.10.7活動） No.67

FDCAT
福生災害ボランティアチェンソー隊

今回の
作業内容

一段落の草刈り作業

今回は、好天に恵まれ作業もはかどりました。水辺の楽校通路付近の河川敷の草刈りは、一段落とします。

しかし、草刈りは終了したわけではなく、今後も定期的な草刈りが続きます。

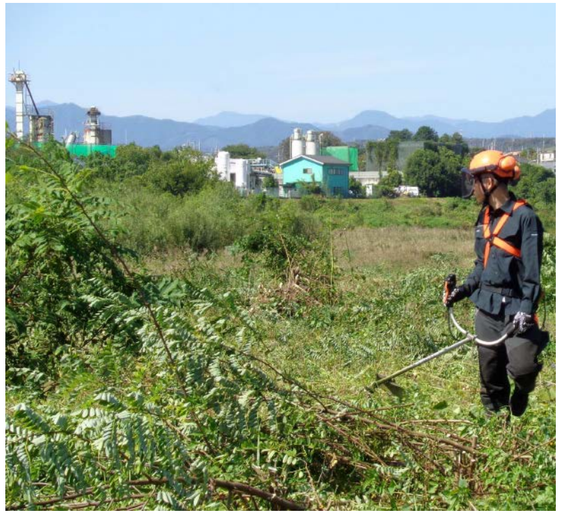
草刈りの途中、メンバーが河川沿いに置かれていた自転車に気づき、防犯登録していた警察署へ電話してみました。

結果的には福生警察署が管轄とのことで、警察官が様子をみにくることになりました。私たちも作業終了とともに帰宅してしまいましたが、若干気になりました。

翌日に見に行きましたが自転車はそのままでした。

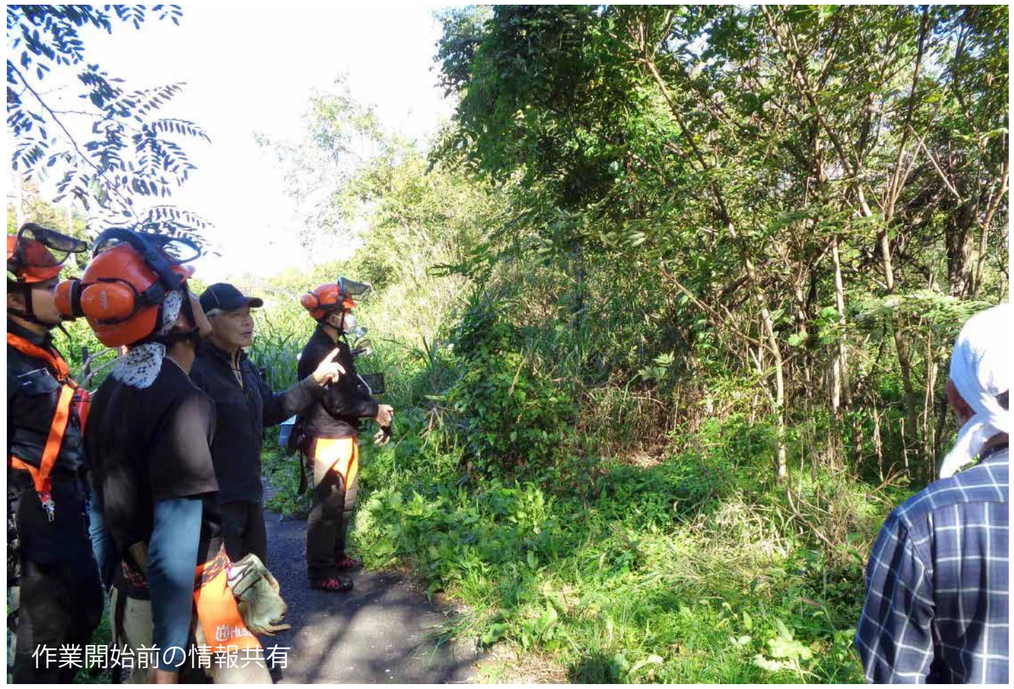
なお、次回からは、多摩川の右岸で平井川と多摩川の合流点付近の、JR五日市線多摩川橋梁上流側のニセアカシヤとニワウルシを中心に伐木し、堤内地に持ち出す作業を予定しています。

すでに、京浜河川事務所多摩川上流出張所、あきる野市の環境政策課、都市整備部管理課、スポーツ振興課、JR東日本八王子支社など、関係機関にも了解が得られました。また、地元の自然保護団体の方にも電話で話をして、希少な草本類には十分気をつけること、該当地区は散歩コースとしても利用されていることから、皆伐ではなく、気持ちよく歩ける環境再生することとしています。次回のたよりで報告する予定です。



福生災害ボランティアチェンソー隊活動記録 (2023.10.22活動)No.68

FDCAT
福生災害ボランティアチェンソー隊


作業開始前の情報共有

今回の
作業内容

新たな場所での作業

今回から、多摩川右岸でJR五日市線多摩川橋梁上流側の平井川沿い、あきる野市内のニセアカシヤとニワウルシを中心に伐木し始めました。

福生からなぜあきる野市に出向くのか？と声がでそうですが、多摩川の対岸で平井川と多摩川の合流点付近のためです。

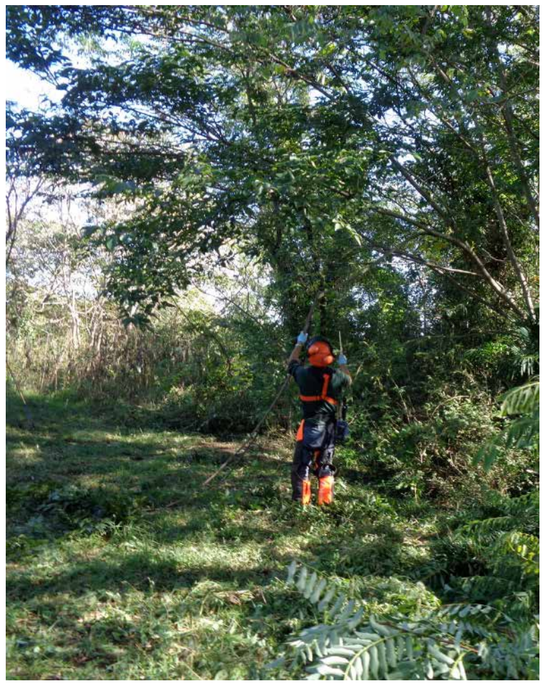
短時間大雨情報が発令されるような降雨になると、JR五日市線や福生からあきる野側に渡る橋などに影響が懸念されます。

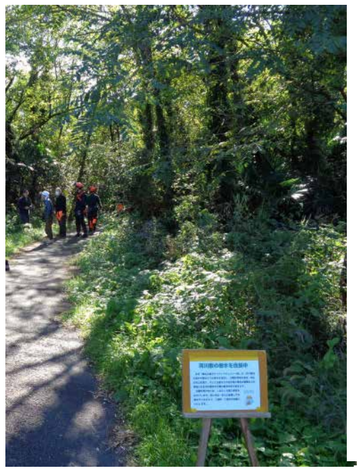
「対岸の火事」として見ていられるような状況ではありませんので、多摩川右岸も左岸も河川敷に生息するニセアカシヤなど、増水時に危険な樹木を除去する必要性があると考えています。

初回の作業では、まず駐車スペースの確保、伐木した樹木を持ち出すための一時仮置き場の作成の他、散歩コースとしての利用に配慮して、より歩きやすいように最低限の草刈りもしました。

他方、河畔林に生息する野生動植物にも配慮が必要と思っていますので、今後も定期的な調査・観察なども含め、多様で継続的な取り組みをする必要がありますね。

課題とすれば、投棄されたゴミと、飼い主の不明な猫への餌やり問題だと思います。





福生災害ボランティアチェンソー隊活動記録 No.69 (2023.11.11 活動)

FDCAT
福生災害ボランティアチェンソー隊

今回の作業内容

続く、伐木作業

先月から伐木を始めたこの場所は、JR五日市線多摩川橋梁上流側で平井川の右岸側です。予想以上に樹木数が多いこと、アズマネザサも多く繁茂していて、予定した以上の時間が必要だと感じています。

伐木し倒れた樹木の枝を落とし、幹の部分を薪配布用に玉切りにして堤内地へ持ち出す取り組みとともに、現時点では枝葉は集めていますが、将来的には堤内地へ持ち出し処分したいですね。

今後、継続的に伐木し玉切りにして堤内地へ持ち出し、薪として必要な住民の方に利用して欲しいと考えています。しかしつい最近、高齢世帯の方から「無償配布の情報入手の方法が不明で、高齢のため自動車運転免許証を返納してしまい、配布場所に取りに行けない」と言われました。

これまで、福生市の「広報ふっさ」で薪配布の日時と会場をお知らせしていましたが、すべての回の広報ができないため、必要な人に情報が届かないという問題が起きています。また、薪配布の場所や入手方法に関しては、伐木樹を置いた場所に住民が出向き、随時持ち帰ることができるといった、現行の青梅市のシステムを、今後検討する必要がありますね。

福生災害ボランティアチェンソー隊活動記録 No.70 (2023.11.26 活動)

FDCAT
福生災害ボランティアチェンソー隊

木育体験を実施しました

今回の作業内容

今回の取り組みは、福生市観光案内所「くるみるふっさ」から依頼され、野外で木育体験を実施しました。

当日は、曇り空で気温が低く、当日になって参加を遠慮された方もいましたが、6家族が参加して親子で体験を共にしました。

内容的には、河川敷で伐木したニセアカシヤを利用し、ノコギリと薪割りを体験し、松ぼっくりを利用したミニツリー作り、クズのツルを利用したクリスマスリース作りをしました。

通常は、チェンソーや刈払い機を利用して伐木や草刈りをしている福生災害ボランティアチェンソー隊のメンバーも、小さな子どもや家族の方と一緒に作業し、完成品を共に喜ぶという体験し、だれかの役に立っているという実感をすることができました。

なお、12月10日(日)午前10時から正午まで、福生市南田園の福生市福祉センター駐車場で、伐木したニセアカシヤを無償で薪配布を行います。